

くらしとごみについて考えよう

(初級)

名前 ()

Q1 ごみが増えすぎると、どんな問題がありますか？

- ア. 処理にお金がかかり、環境にも負担がかかる
- イ. 特に問題はない
- ウ. ごみが増えるほど便利になる

勉強中です



Q2 なぜごみを減らす必要があるのですか？

- ア. 将来の人たちの負担を減らすため
- イ. ごみを増やすため
- ウ. 特に理由はない

Q3 ごみを減らすために、市はどのような取り組みをしますか？

- ア. ごみをすべて無料で回収する。
- イ. ごみのルールをなくす。
- ウ. 有料の指定ごみ袋を使うようにする。

Q4 有料指定ごみ袋を使うのはなぜですか？

- ア. どんなごみでも出せるようにするため。
- イ. ごみを減らし、分別を進めるため。
- ウ. ごみを増やすため。



Q5 ゆうりょう 有料指定ごみ ぶくろ 袋を使うのはどのごみですか？

ア. 家庭の「普通ごみ（燃やすごみ）」

イ. ビン・カン・などの資源ごみ

ウ. すべてのごみ

Q6 ごみを減らすために、大切なことは何ですか？

ア. すべてまとめて捨てる

イ. リサイクルできるものを分けて出す

ウ. ごみを気にしない

Q7 しげん 資源化の取り組みとして正しいのはどれですか？

ア. 木の枝などを燃料として再利用する

イ. すべて埋め立てる。

ウ. 何もしない

Q8 ルールどおりに出されなかったごみ袋はどうなりますか？

ア. 必ず回収される

イ. 回収されないことがある

ウ. 何も変わらない



Q9 ごみを減らし、分別をしっかりと行うことで、どんな良いことがありますか？

ア. ごみが増える

イ. ごみ焼却施設の規模が大きくなる

ウ. 将来世代の負担が少なくなる



かいとう かいせつ 解答・解説

Q1 ア. 処理にお金がかかり、環境にも負担がかかる

解説: 皆さんの世代や地域の負担を考えて、ごみの減量・資源化を進めてみましょう。

Q2 ア. 将来の人たちの負担を減らすため

解説: しっかりと分別を行うなどをして、少しずつごみを減らしていきましょう。

Q3 ウ. ごみ処理を有料にする。

解説: ごみ処理の有料化は令和8年10月1日から始まります。

Q4 イ. ごみを減らし、分別を進めるため。

解説: ごみを減らすように、出す人が費用を負担し、同時にごみを減らす行動を促します。

Q5 ア. 家庭の「普通ごみ（燃やすごみ）」

解説: 有料化の対象は「普通ごみ（燃やすごみ）」です。「資源ごみ」などは今まで通りに出してください。

Q6 イ. リサイクルできるものを分けて出す。

解説: 例えば、紙やビン、ペットボトルなどを分けて出すと、新しい材料として生まれ変わりやすくなります。積極的に分別していきましょう。

Q7 ア. 木の枝などを燃料として再利用する。

解説: 木の枝などを持ち込める施設に行くと、資源化に一步繋がることができます。

Q8: イ. 回収されないことがある

解説: 規則どおりに出さないと注意のカード（イエローカード）が貼られて、回収してもらえないことがあります。

Q9 ウ. 将来世代の負担が少なくなる

解説: 減量・分別・リサイクルを進めると、未来の人たちの負担を減らせます。

